

平成28年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 高須 中学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成28年6～7月に、2年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思えます。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立への取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

※
[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン・持久走、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択するため8種目となる

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

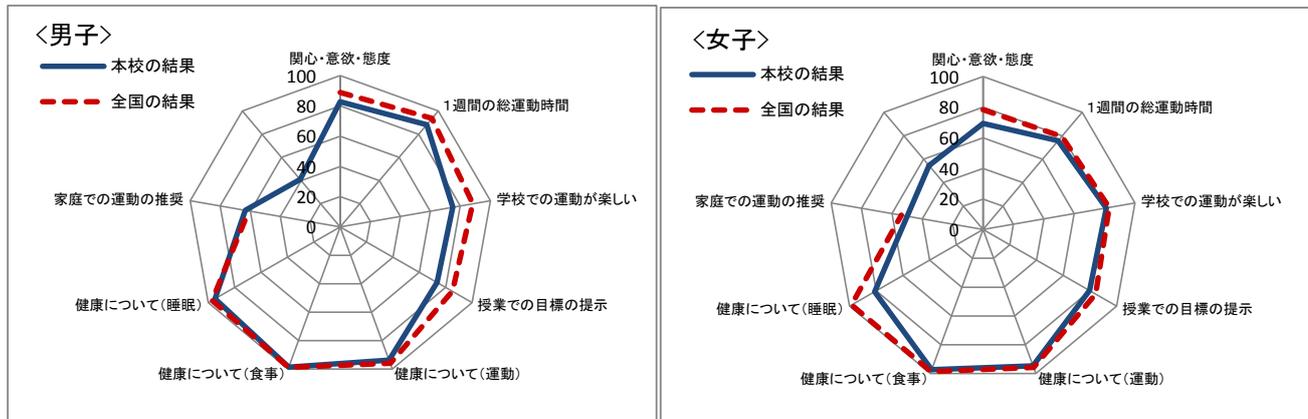
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
全国	28.91	27.46	43.06	51.93	391.72	86.24	8.03	194.69	20.59	42.13
本市	29.55	28.06	44.81	52.32	388.77	87.33	7.93	197.50	21.05	43.99
全国平均以上の種目	○		○		○		○		○	○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
全国	23.75	23.48	45.46	46.60	288.51	58.80	8.83	168.28	12.85	49.56
本市	24.21	23.51	46.78	46.51	293.87	58.23	8.81	169.02	12.76	50.04
全国平均以上の種目	○		○					○	○	○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

運動部や地域のクラブチームに所属していない生徒の割合が少ない現状があり、保健体育の授業以外での運動量の確保が難しい状況にあるため、体力において二極化している。そのため、保健体育の授業での運動量の確保はもちろんのことながら、家庭でも運動に親しめるために運動に対して興味・関心をもたせる必要がある。また、家庭でもできる運動プログラムの紹介など授業で実践していく必要がある。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で)

T3で授業を行い、運動面に対して(特につまずきのある生徒)のきめ細かな指導ができるよう努めている。また、授業規律の徹底と、毎時間の主運動につながる補助運動の工夫を行っている。保健の授業と関連させ生活習慣を振り返らせ、体力向上に向けての課題や目標を設定させ、生徒の意識と意欲を高めた。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

持久力を養う運動を中心に、運動部以外の部活動においても積極的に運動を取り入れている。また、複数の部活動合同で補強運動や体カトレーニングを実施した。